

令和6年度 長崎県立鶴南特別支援学校 五島分校 学校評価 保護者アンケート

校訓	元気に たゆまず 美しく
学校教育目標	児童生徒が自己の能力や個性を発揮し、明るく元気に生活する中で、夢や希望に向かって努力し、自他を尊重するとともに優しく美しい心もち、自己実現と社会参加を図りながら生涯にわたって豊かな生活を送ることができる人間を育成する。

※ 下記の を参考に、該当する欄に○をつけてください。

4:よくあてはまる	3:どちらかといえばあてはまる	2:あまりあてはまらない
1:まったくあてはまらない	/:分からない、該当しない	

番号	評価内容	評価					全校		小中		高	
		4	3	2	1	/	R6	R5	R6	R5	R6	R5
1 学校経営		4	3	2	1	/	3.7	3.6	3.7	3.6	3.6	3.5
1	教育目標には児童生徒の実態に合った教育的ニーズや願いが盛り込まれている。	21	10	0	0							
2 教育活動												
2	教育活動の目標は適切で、保護者と共通理解を図りながら実践している。	16	14	1	0		3.5	3.5	3.5	3.6	3.5	3.4
3	福江小や海陽高校など併設校と連携・協力しながら教育活動を行っている。	16	14	0	0	1	3.5	3.6	3.6	3.6	3.4	3.6
4	保護者の希望や願いの声が届きやすく、その声を学校運営に反映している。	14	12	1	1	3	3.4	3.4	3.4	3.5	3.3	3.3
5	児童生徒が主体的に活動しようとする指導内容や学校行事を行っている。	14	16	0	0	1	3.5	3.5	3.5	3.6	3.5	3.3
6	教職員は、自分の個性を發揮し、明るく活気のある学校づくりを行っている。	14	12	1	0	4	3.5	3.6	3.4	3.7	3.6	3.3
7	教職員は、専門性をもって指導に取り組んでいる。	16	10	1	0	4	3.6	3.5	3.6	3.7	3.6	3.3
8	「個別的教育支援計画」について保護者と話し合い、学校と家庭が連携しながら課題に取り組んでいる。	18	11	1	0	1	3.6	3.7	3.6	3.8	3.5	3.5
9	学校行事や授業などで、児童生徒一人一人の生き生きとした活動の様子がみられる。	17	11	2	0	1	3.5	3.7	3.6	3.8	3.3	3.6
10	児童生徒一人一人に対する指導が工夫され、分かりやすい授業を行っている。	18	11	0	0	2	3.6	3.6	3.7	3.8	3.4	3.4
11	基本的な生活習慣や挨拶、礼儀などが身に付く指導をしている。	17	11	1	0	2	3.6	3.6	3.6	3.7	3.4	3.4
12	児童生徒の心に寄り添い、児童生徒の立場に立って相談や声掛けをしている。	14	13	1	1	2	3.4	3.6	3.4	3.7	3.3	3.4
13	児童生徒の命や健康の尊さ、人権などを尊重した取組をしている。	15	14	0	0	2	3.5	3.6	3.5	3.7	3.5	3.4
14	児童生徒の事故防止のための研修や指導をしている。	13	13	0	0	5	3.5	3.5	3.6	3.6	3.4	3.3
15	学校と家庭が必要な情報を共有したり、連携したりしやすい関係性である。	17	12	0	0	2	3.6	3.6	3.6	3.8	3.6	3.3
16	児童生徒の成長に合わせ、将来を見通した進路指導をしている。	16	10	2	0	3	3.5	3.6	3.5	3.6	3.5	3.6
17	児童生徒の将来の夢や願いに向けた情報を提供している。	13	12	2	0	4	3.4	3.5	3.4	3.5	3.4	3.4
18	いじめが起きにくい、いじめを許さない環境づくりに取り組んでいる。	14	7	1	0	9	3.6	3.6	3.5	3.8	3.7	3.3
19	現場実習や進路開拓(一般就労・福祉就労等)を十分に行っている。(高のみ記入)	6	4	0	0		3.6	3.6	/	/	3.6	3.6
3 教育環境							3.5	3.6	3.5	3.7	3.5	3.4
20	校舎内外の施設が整備され、清潔な学校づくりに努めている。	19	11	1	0		3.6	3.5	3.6	3.8	3.5	3.2
21	児童生徒の学習目標に従った教育環境が整っており、活用している。	18	11	2	0		3.5	3.5	3.6	3.7	3.4	3.3
22	危険箇所などへの配慮が十分なされ、児童生徒の安心・安全に配慮している。	16	12	1	0	2	3.5	3.5	3.5	3.7	3.5	3.3
23	潤いのある環境美化のために、掲示物や花壇などが整備されている。	16	14	1	0		3.5	3.4	3.5	3.6	3.4	3.2
4 開かれた学校							3.5	3.5	3.6	3.7	3.5	3.3
24	学校行事や学校公開など、地域の人々が来校しやすい機会を設けている。	18	11	1	0	1	3.6	3.4	3.6	3.5	3.4	3.3
25	PTA活動に参加しやすいよう配慮している。	12	12	3	0	4	3.3	3.4	3.3	3.5	3.3	3.2
26	学校の情報をホームページや各種便りなどで伝えている。	23	6	0	0	2	3.8	3.5	3.9	3.6	3.7	3.3
5 総合評価							3.6	3.4	3.6	3.5	3.5	3.3
27	子供にとって望ましい学校である。	20	8	2	1		3.5	3.7	3.5	3.7	3.5	3.6
							3.5	3.5	3.6	3.7	3.5	3.4

※今後の学校運営に役立てたいと思いますので、「2」や「1」の評価をつけられた場合は、その理由や改善方法などについて、気付きをお書きください。

・保護者から(行事や学校生活についてなど)意見が出された時、他の保護者の方にも意見を伺ってほしいです。
・子供が学校へ行きたくない。小学校の方を望んでいる。福江小と連携・協力しながら教育活動をお願いします。子供の声を聞いて受け入れてほしい。
・高等部の行事などは参加しづらい。

令和6年度 長崎県立鶴南特別支援学校 五島分校 学校評価 教職員アンケート

校 訓	元 気 に た ゆ ま ず 美 し く
学 校 教 育 目 標	児童生徒が自己の能力や個性を發揮し、明るく元気に生活する中で、夢や希望に向かって努力し、自他を尊重するとともに優しく美しい心を持ち、自己実現と社会参加を図りながら生涯にわたって豊かな生活を送ることができる人間を育成する。

※ 下記の を参考に、該当する欄に○をつけてください。

4:よくあてはまる 3:どちらかといえばあてはまる 2:あまりあてはまらない
1:まったくあてはまらない /:分からない、該当しない

番号	評 価 内 容	評 価					全 校		小 中		高	
		4	3	2	1	/	R6	R5	R6	R5	R6	R5
1 学校経営		4	3	2	1	/	R6	R5	R6	R5	R6	R5
1	教育目標には児童生徒の実態に合った教育的ニーズや願いが盛り込んである。	19	6	0	0		3.8	3.7	3.7	3.6	3.8	3.8
2 教育活動												
2	教育活動の目標は適切で、保護者と共通理解を図りながら実践している。	14	11	0	0		3.6	3.6	3.5	3.5	3.7	3.6
3	福江小や海陽高校など併設校と連携・協力しながら教育活動を行っている。	18	7	0	0		3.7	3.7	3.7	3.6	3.8	3.8
4	保護者の希望や願いの声が届きやすく、その声を学校運営に反映している。	15	10	0	0		3.6	3.5	3.5	3.6	3.7	3.4
5	児童生徒が主体的に活動しようとする指導内容や学校行事を行っている。	17	8	0	0		3.7	3.8	3.6	3.8	3.8	3.8
6	教職員は、自分の個性を發揮し、明るく活気のある学校づくりを行っている。	14	11	0	0		3.6	3.5	3.6	3.6	3.5	3.4
7	教職員は、専門性をもって指導に取り組んでいる。	10	15	0	0		3.4	3.4	3.3	3.6	3.5	3.3
8	「個別の教育支援計画」について保護者と話し合い、学校と家庭が連携しながら課題に取り組んでいる。	17	7	0	0	1	3.7	3.8	3.7	3.8	3.7	3.9
9	学校行事や授業などで、児童生徒一人一人の生き生きとした活動の様子が見られる。	18	7	0	0		3.7	3.8	3.7	3.9	3.8	3.7
10	児童生徒一人一人に対する指導が工夫され、分かりやすい授業を行っている。	15	10	0	0		3.6	3.5	3.4	3.6	3.9	3.4
11	基本的な生活習慣や挨拶、礼儀などが身に付く指導をしている。	19	6	0	0		3.8	3.7	3.7	3.6	3.9	3.7
12	児童生徒の心に寄り添い、児童生徒の立場に立って相談や声掛けをしている。	16	9	0	0		3.6	3.7	3.5	3.6	3.9	3.8
13	児童生徒の命や健康の尊さ、人権などを尊重した取組をしている。	21	4	0	0		3.8	3.8	3.7	3.8	4.0	3.8
14	児童生徒の事故防止のための研修や指導をしている。	18	7	0	0		3.7	3.7	3.7	3.8	3.8	3.7
15	学校と家庭が必要な情報を共有したり、連携したりしやすい関係性である。	16	9	0	0		3.6	3.7	3.6	3.6	3.7	3.7
16	児童生徒の成長に合わせ、将来を見通した進路指導をしている。	13	12	0	0		3.5	3.6	3.4	3.5	3.7	3.8
17	児童生徒の将来の夢や願いに向けた情報を提供している。	10	15	0	0		3.4	3.4	3.3	3.3	3.5	3.4
18	いじめが起きにくい、いじめを許さない環境づくりに取り組んでいる。	17	8	0	0		3.7	3.6	3.7	3.7	3.7	3.5
19	現場実習や進路開拓(一般就労・福祉就労等)を十分に行っている。(高のみ記入)	7	3	0	0		3.7	3.7	/	/	3.7	3.7
3 教育環境							3.6	3.6	3.6	3.6	3.7	3.6
20	校舎内外の施設が整備され、清潔な学校づくりに努めている。	13	11	1	0		3.5	3.6	3.6	3.6	3.3	3.4
21	児童生徒の学習目標に従った教育環境が整っており、活用している。	12	13	0	0		3.5	3.6	3.5	3.6	3.4	3.6
22	危険個所などへの配慮が十分なされ、児童生徒の安心・安全に配慮している。	16	9	0	0		3.6	3.7	3.7	3.7	3.6	3.6
23	潤いのある環境美化のために、掲示物や花壇などが整備されている。	12	13	0	0		3.5	3.4	3.5	3.6	3.5	3.2
4 開かれた学校							3.5	3.6	3.6	3.6	3.5	3.5
24	学校行事や学校公開など、地域の方が来校しやすい機会を設けている。	17	8	0	0		3.7	3.7	3.6	3.7	3.8	3.6
25	PTA活動に参加しやすいよう配慮している。	12	11	1	0	1	3.5	3.6	3.3	3.7	3.7	3.4
26	学校の情報をホームページや各種便りなどで伝えている。	18	7	0	0		3.7	3.9	3.7	3.9	3.7	3.8
5 総合評価							3.6	3.7	3.5	3.8	3.7	3.6
27	子供にとって望ましい学校である。	19	6	0	0		3.8	3.8	3.7	3.8	3.8	3.8

3.6 3.6 3.6 3.7 3.7 3.6

※今後の学校運営に役立てたいと思いますので、「2」や「1」の評価をつけられた場合は、その理由や改善方法などについて、気付きをお書きください。

令和6年度 学校評価の結果を受けての考察と今後の対応について

長崎県立鶴南特別支援学校五島分校

		1 教育活動		2 教育環境		3 開かれた学校		4 総合評価	
		R 6	R 5	R 6	R 5	R 6	R 5	R 6	R 5
全学部	保護者	△3.5	3.6	3.5	3.5	↑3.6	3.4	△3.5	3.7
	教職員	3.6	3.6	△3.5	3.6	△3.6	3.7	3.8	3.8
小中学部	保護者	△3.5	3.7	△3.6	3.7	↑3.6	3.5	△3.5	3.7
	教職員	3.6	3.6	3.6	3.6	△3.5	3.8	△3.7	3.8
高等部	保護者	↑3.5	3.4	↑3.5	3.3	↑3.5	3.3	△3.5	3.6
	教職員	↑3.7	3.6	3.5	3.5	↑3.7	3.6	3.8	3.8

※4段階評価 ↑：向上 △：下降

1 教育活動について

【全学部】

<保護者>

「教育活動」の領域の平均は3.5Pと昨年から0.1P下がっているが、例年高い水準で推移しており、全体的に高い評価を得ている。

項目別で見ると、全18項目中15項目が3.5ポイント以上の高い評価を得ているが、昨年に比べると評価が上がった項目は無く、全18項目中8項目で0.1～0.2P下がっている。例年高い評価を維持している点については評価できる。昨年と比較して評価が下がり、かつ評価が3.5未満の項目は「12 児童生徒の心に寄り添い、児童生徒の立場に立って相談や声掛けをしている」(3.6⇒3.4)、「17 児童生徒の将来の夢や願いに向けた情報を提供している」(3.5⇒3.4)であった。これらの2項目については、複数名の保護者が「2」または「1」の評価だった。

これらの評価に至った理由は明記されておらず、保護者の真意は明確には分からないが、その評価を真摯に受け止めたい。引き続き、将来に向けた情報提供や相談には、取組を向上させていきたい。

<教職員>

「教育活動」の領域の平均は3.6Pと昨年と同値の評価であり、高い水準を保っている。

項目別で見ると、保護者と同等に全18項目中16項目が3.5以上の高い評価を得ている。6項目で昨年の評価を下回っているが、5項目で昨年の評価を上回っている(いずれも0.1P)。「7 教職員は、専門性をもって指導に取り組んでいる」は、保護者の3.6Pに対して、教師は3.4Pと評価に差が見られる。「17 児童生徒の将来の夢や願いに向けた情報を提供している」は、保護者と教師が共に3.4Pと評価が高くない。「11 基本的な生活習慣や挨拶、礼儀などが身に付く指導をしている」は0.1P昨年の評価を上回り、「13 児童生徒の命や健康の尊さ、人権などを尊重した取組をしている」は、いずれも3.8Pと評価が高く、教師の意識の高さが伺える。

【小中学部】

<保護者>

「教育活動」の領域の平均は3.5Pと昨年から0.2P下がっている。

項目別で見ると、昨年に比べて評価が上がった項目は無く、18項目中15項目で0.1～0.3P下がっている。「4 保護者の希望や願いの声が届きやすく、その声を学校運営に反映している」(3.5⇒3.4)、「6 教職員は、自分の個性を発揮し、明るく活気のある学校づくりを行っている」(3.7⇒3.4)、「12 児童生徒の心に寄り添い、児童生徒の立場に立って相談や声掛けをしている」(3.7⇒3.4)、「17 児童

生徒の将来の夢や願いに向けた情報を提供している」(3.5⇒3.4)の4項目で「2」「1」の評価があった。「保護者から(行事や学校生活についてなど)意見が出された時、他の保護者の方にも意見を伺ってほしいです(原文のまま)」という意見があった。引き続き、保護者の意見等を受け止め、学校の方針や意図が伝わる姿勢を大事にしていきたい。

<教職員>

「教育活動」の領域の平均は3.6Pと、昨年と同様に高い水準を保っている。

項目別で見ると、全17項目中「3 福江小や海陽高校など併設校と連携・協力しながら教育活動を行っている」(3.6⇒3.7)、「11 基本的な生活習慣や挨拶、礼儀などが身に付く指導をしている」(3.6⇒3.7)の2項目で昨年より向上しており、その他5項目で3.7Pの高い評価だった。

全17項目中7項目は昨年比0.1~0.3下がっており、中でも「7 教職員は、専門性をもって指導に取り組んでいる」(3.6⇒3.3)は唯一0.3P下がっており、「17 児童生徒の将来の夢や願いに向けた情報を提供している」(3.3⇒3.3)は昨年と同じ評価で、最も低い評価項目である。特に専門性に関する項目は、教職員が自身の専門性を高く評価していないことが要因として考えられる。また、児童生徒の将来に対する情報提供については、進路に関する重要な項目であり、さらにキャリア教育の視点で取組の向上が必要である。

【高等部】

<保護者>

「教育活動」の領域の平均は3.5Pと、昨年比0.1P上がっている。

項目別で見ると、全18項目中8項目が0.1~0.4Pの幅で上がっている。特に「6 教職員は、自分の個性を発揮し、明るく活気ある学校づくりを行っている」「7 教職員は、専門性をもって指導に取り組んでいる」「15 学校と家庭が必要な情報を共有したり、連携したりしやすい関係である」

「18 いじめが起きにくい、いじめを許さない環境づくりに取り組んでいる」の3項目では、昨年比で0.3~0.4P向上している。昨年は教職員の評価が3.7P、保護者が3.3Pであり、保護者と教職員の評価に違いがあったが、今年の評価は教職員3.7Pと保護者3.5Pで差が縮まっている。項目15の評価が0.3P上がっていることから、保護者との共有や連携の向上が伺える。一方、18項目中4項目が昨年比で0.1~0.3Pの幅で下がっている。「4 保護者の希望や願いの声が届きやすく、その声を学校運営に反映している」は昨年と同じ評価ではあるが、最も低い評価項目である。向上している項目が多い結果は、今年の実績として捉えられるが、高くない評価については、保護者の声を聴きながら具体的な対応を考えていきたい。

<教職員>

「教育活動」の領域の平均は3.7Pと、昨年比0.1ポイント上がっており、高い水準を保っている。

項目別で見ると、全18項目中12項目が昨年比0.1~0.5P向上しており、特に「4 保護者の希望や願いの声が届きやすく、その声を学校運営に反映している(3.4⇒3.7)」「10 児童生徒一人一人に対する指導が工夫され、分かりやすい授業を行っている(3.4⇒3.9)」は大きく向上している。さらに、「13 児童生徒の命や健康の尊さ、人権などを尊重した取組をしている(3.8⇒4.0)」は、教師全員が高く評価しており、生徒の人権を重んじた指導ができています。また、「19 現場実習や進路開拓(一般就労・福祉就労等)を十分に行っている」は、評価として変化はないが(3.7⇒3.7)、高い評価を維持している。「4 保護者の希望や願いの声が届きやすく、その声を学校運営に反映している」は、教職員が3.7Pに対して保護者は3.3Pと評価が相違している。

2 教育環境について

【全学部】

<保護者>

「教育環境」の領域の平均は3.5Pと、昨年と同様に高い水準を保っている。

項目別で見ても、全項目の評価が3.5～3.6Pで安定しており、教育環境が適切であると言える。

<教職員>

「教育環境」の領域の平均は3.5Pと、昨年比0.1P下がっているが、高い水準を保っている。

全4項目において、評価が3.5～3.6Pであり、毎月の安全点検やヒヤリハットの共有などが高評価につながっていると思われる。

【小中学部】

<保護者>

「教育環境」の領域の平均は3.6Pで、昨年比0.1P下がっているが高評価である。

項目別で見ると、全4項目で0.1～0.2P下がっている。「20 校舎内外の施設が整備され、清潔な学校づくりに努めている (3.8⇒3.6)」、「22 危険箇所などへの配慮が十分なされ、児童生徒の安心・安全に配慮している (3.7⇒3.5)」の2項目については、0.2P下がっている。また、20、21については、少数ではあるが「2」の評価がある。保護者の貴重な意見として改善につなげていきたい。

<教職員>

「教育環境」の領域の平均は3.6Pで、昨年同様の高評価である。

項目別で見ても、全項目で3.5～3.7Pの評価で、昨年と大きな変化は見られない。「22 危険箇所などへの配慮が十分なされ、児童生徒の安心・安全に配慮している」は、昨年と同様に3.7Pの高水準を維持しており、安全面への配慮が十分であることが伺える。

【高等部】

<保護者>

「教育環境」の領域の平均は3.5Pで、昨年比0.2P上がっている。

項目別では、全4項目とも3.4～3.5Pの評価で、昨年比0.1～0.3P上がっている。特に「20 校舎内外の施設が整備され、清潔な学校づくりに努めている (3.2⇒3.5)」については、0.3ポイント上がっている。昨年の分析によると、「この領域（教育環境）は毎回評価が低く、生徒と教師が一緒になって担当区域の清掃やごみ集めを一生懸命に行ったり、教室や特別教室も清潔に保ったりしていることが保護者には十分に届いていない」とあったが、今年は環境整備の取組が保護者に伝わったと考える。

<教職員>

「教育環境」の領域の平均は3.5Pで、昨年と同等の評価である。

項目別で見ると、昨年比0.1～0.2P下がっている項目と0.3P向上している項目が混在している。

「20 校舎内外の施設が整備され、清潔な学校づくりに努めている」は、評価が3.3Pで、「2」の評価があった。「23 潤いのある環境美化のために、掲示物や花壇などが整備されている」が0.3P向上したことは評価できる。

3 開かれた学校について

【全学部】

<保護者>

「開かれた学校」の領域の平均は3.6Pで、昨年比で0.2P上がっている。

項目別で見ると、全3項目中1項目は0.1P下がっているが、2項目「24 学校行事や学校公開など、地域の人が来校しやすい機会を設けている(3.4→3.6)」「26 学校の情報をホームページや各種便りなどで伝えている(3.5→3.8)」は、0.2~0.3P上がっている。評価が0.1P下がった「25 PTA活動に参加しやすいよう配慮している」は、全校で3名が「2」の評価だった。PTA会長を中心として保護者とも連携を図りながら、次年度以降の活動内容について検討事項としたい。

<教職員>

「開かれた学校」の領域の平均は3.6Pで、昨年比で0.1P下がっている。

項目別で見ると、全3項目とも昨年より上がった項目は無いが、全3項目とも3.5P以上という評価である。特に「24 学校行事や学校公開など、地域の人が来校しやすい機会を設けている(3.7→3.7)」「26 学校の情報をホームページや各種便りなどで伝えている(3.9→3.7)」と、昨年を上回ることはないが、高水準を維持していると判断できる。26項目については、昨年は保護者の評価とは対照に、教師側は高評価であり、その平均に最大0.4Pの差があった。今年は、教職員よりも保護者の評価が0.1P上回ったことは大きな成果である。ホームページ掲載の年間計画に基づき、各学部の行事等を積極的に掲載していること、学級だよりを積極的に発行していること、安心安全メールでホームページの更新を伝えていること、これらにより保護者の認知度やホームページを見ようとする意識が向上したことが高評価の要因であると推察できる。

【小中学部】

<保護者>

「開かれた学校」の領域の平均は3.6Pと高い評価で、前年比0.1P上がっている。

項目別に見ても、「26 学校の情報をホームページや各種便りなどで伝えている」は、昨年比0.3P上がり3.9Pと大幅に成果が見られる。前述同様に、小中学部において学級だよりの発行頻度が高く、ホームページ更新も頻繁に取り組んでいることが評価されていると推察できる。

<教職員>

「開かれた学校」の領域の平均は3.5Pで、昨年比0.3P下がっている。

項目別にみると、3項目とも昨年比で0.1~0.3P下がっているが、「26 学校の情報をホームページや各種便りで伝えている」は、3.7Pという高評価であり、学級通信やホームページをとおして学校の情報を発信しているという実践力の高さが伺える。また、教職員と保護者の双方で評価が高く、共通の認識であることは何よりの成果である。

【高等部】

<保護者>

「開かれた学校」の領域の平均は3.5Pで、前年比0.2P上がっている。

項目別に見ても全3項目とも前年比0.1~0.4ポイント上がっている。昨年この領域では6名が評価「2」、その他「1」の評価もあるなど、評価が低かったが(3.3P)。今年は昨年より評価の低い保護者が大幅に減っていることは、成果として捉えられる。「高等部の行事などは参加しづらい(原文)」という保護者の意見がある。少数ではあるが、評価「2」があることを受け止め、共通理解を図っていくことが必要だと思う。

<教職員>

「開かれた学校」の領域の平均は3.7Pで高く、前年比0.1P上がっている。

項目別に見ると、全3項目で0.1~0.3P上がっている。「24 学校行事や学校公開など、地域の人
が来校しやすい機会を設けている」は、3.8Pで非常に高い評価である。「25 PTA活動に参加しや
すいよう配慮している」は、全校、小中学部、高等部の保護者及び教職員の評価の中で最も高い評価
3.7Pである。保護者の評価が3.3Pで、教職員の評価3.7Pと0.4Pの差がある。この評価の差
については、改善策を立てていきたい。

4 総合評価

<保護者>

総合評価については、全体評価が3.5Pと、昨年比0.2P下がっている。学部別に見ると、小中学
部と高等部では同値である。評価内容は「27 子供にとって望ましい学校である」という学校として
は最も重要な評価項目の1つである。概ね「3」または「4」の評価であるが、「2」が2名、「1」
が1名の評価である。子供が通学する場所として、学校に期待する貴重な評価と受け止め、教育活動
に理解を得られるよう努力していきたい。

<教職員>

総合評価については、全体評価が3.8Pと、昨年と同じ評価である。学部別に見ても、小中学部は
3.7P、高等部は3.8Pでどちらも高評価である。自分たちの指導や学校の在り方を客観的に見て「子
供たちにとって望ましい学校である」と評価した結果であると思う。

5 全体総括

全領域の平均の評価は、保護者が3.5P、教職員が3.6Pで、高い評価を維持していると捉える。
各項目で保護者と教職員の評価を比較すると、評価に差がある内容があり、実際の教育活動でその差
を少なくするよう、保護者に分かりやすい取り組みをしていくことの重要性を感じる。また、小中学
部と高等部で評価に差がある内容もある。評価する内容によっては、児童生徒の生活年齢や実態によ
って違いが出るのは想定できるが、できるだけ客観性を高められる評価になるよう、評価項目につい
ては検討を重ねていきたい。

学校運営は所属する職員一人一人が関わっているものである。職員一人一人が鶴南特別支援学校五
島分校の一員であり、学校運営に参画しているという意識をもつことが大事である。今後も、職員間
や保護者との連携を大切にしながら日々の指導・支援に努め、保護者の期待に応えられるような、よ
り良い学校づくりに取り組んでいきたい。